

高校生が開発―水道スマートメーター

私が住んでいる生駒市からほど近い奈良市にある帝塚山高校理科部に所属する女の子達が水道の使用量をスマートフォンなどで把握できる「水道スマートメーター」を開発したことを新聞で読んで知りました。この計器を開発するために、水道システムや検針作業、必要なプログラムについて勉強するなどの努力を重ねてきたことに感動しました。そして何よりも、同年代の子達がこんなにもすごいものを発明した事に驚きました。

まず私は、水道メーターの検針作業員が一軒一軒回る方法で検針作業をしていたことから知りませんでした。一軒ずつ回る事も大変ですが、メーターを確認しづらい家屋での作業は、とても手間のかかることだと思います。また、今回女の子が開発した「水道スマートメーター」はスマホで使用量の把握が

生駒市立上中学校 二年

高橋 美紘

出来るそうです。スマホで家電が動かせたり、ネット上でさまざまなデータが見られたり、という現代にありそうでなかったものだと気付きました。人が気付かないことに気付くことこそが新しいものを生み出す力になるのだなど感じ、興味が湧きました。

今回、この計器を開発するために女の子達は、専門書や企業向け勉強会などに足を運び、休日返上で研究したそうです。そして、それぞれ役割分担をしてプログラムを組むなど、とても努力したと記事にありました。私なら、こんなに必死に努力ができたのだろうかと思いませんが、女の子達は、「難しくても何度も諦めかけたが、みんなで励まし合い、壁を乗り越える度に成長が実感できた。」と、コメントしていました。仲間がいたから

こそできた事なのだ。仲間の大切さにも触れることができませんでした。

この開発は水道メーター検針作業員の手間が省けることは効率がいいのですが、それと同時にその人達の仕事が無くなっていき、人の力ではなく、機械の力などでやりこなしてしまう「AI時代」が進んで行くのはとてもよくないことなのではないでしょうか。そして働ける場所が減少していくという事は、これからの社会にとっての問題になります。私達が社会に出た時とても不安でもあるなと私は思いました。しかし、見方を変えてみると、人件費の削減が水道量の値下げに繋がるかもしれないと考えると嬉しい気持ちにもなりました。

これからの「水道スマートメーター」はスマホで今の使用量が分かり、値段などがその場で分かれば節約に繋がりとってもいいので、早く普及して欲しいです。一般家庭での実証実験を目指しているようなので、成功して私達にも使えるようになる日を楽しみにしたいと思います。そして同世代の女の子達の努力と行動力を知り、苦い世代の私たちが活躍

することが大切なんだと感じました。私も努力をし、勉強などを重ね、自分たちが出来ることを仲間と共に活躍できたらなと思います。